

蔓延する “ハンタイ”ウイルス？ —または石油とナフサの節約について—

古琴…どうだい、時代を超えた令和への旅は面白いだろ。

八…熊公は、春先まで寝てましたけどね。

熊…早く冬眠しろって言うからさ。八…でもまたノコノコ出始めて、迷惑をかけてるらしいじゃねえか。早いとこ、くまモンとプーさんって奴に言っつて、熊どもを静かにさせろよ。

熊…俺は獣じゃねえよ(バシッ)。

八…ところで、何やら怖い流行病があつたって聞きやした。

萬重…ああ、新型コロナウィルスの話か。世界中が大変だつたらしいな。今もどこかに潜んでいるらしい。手洗い・うがいは欠かせない。

八…熊公、お前のことだ。

熊…うるせい(バシッ)。

萬重…ハンタイウイルスやエボラ熱なんてのも出てきた。ハンタを運ぶネズミを始末しようぜ。

八…熊公、頼むぞ。

熊…俺は熊だ、猫じゃねえ(バシッ)。

八…古琴の旦那、日の本では、何やら「ハンタイウイルス」って奴

も流行っているらしいすね。この病にかかると、何にでもハンタイするって聞きやした。筆頭家老の

八…熊公は、春先まで寝てましたけどね。

熊…早く冬眠しろって言うからさ。八…でもまたノコノコ出始めて、迷惑をかけてるらしいじゃねえか。早いとこ、くまモンとプーさんって奴に言っつて、熊どもを静かにさせろよ。

熊…俺は獣じゃねえよ(バシッ)。

八…ところで、何やら怖い流行病があつたって聞きやした。

萬重…ああ、新型コロナウィルスの話か。世界中が大変だつたらしいな。今もどこかに潜んでいるらしい。手洗い・うがいは欠かせない。

古琴…非難と暴言の紙つぶてが大量に投げ込まれることを「炎上」って言うのだよ。

熊…炎上って火事のことすよね。

八…江戸の華は喧嘩と火事だ。日の本全土に、火事と喧嘩が行き渡つたってことか？

八…馬鹿言うな(バシッ)。

熊…だつて、ハンタイするつてのは喧嘩でこつたらろ。

八…喧嘩はともかく、火付けは磔の刑だぞ！(バシッ)。

萬重…ならば、トラ殿様やプー殿様は磔だぜ。

目詰まりは商いの常

萬重…そもそも姐さんも、ハンタイする奴にハンタイしたがるつていうハンタイ好きらしいすね。

古琴…石油の儉約話がまさにそうだね。

萬重…石油って、「草生水」や「臭水」っていう「燃える水」のことですよ。

古琴…さすが耕書堂、その通り。先月話したとおり、米藩のトラ殿様がイラン藩と大戦を始めて、その石油を積んだ船の通り道、ホルムズ海峡を封鎖したんだよ。

熊…イランことしやがって。

八…先月と同じ戯れ言を言うん

じゃねえ(バシッ)。

萬重…熱や灯りの元つこになる石油だけじゃなくて、そこからできるモノづくりを使うナフサつてのも手に入らないで困っている。それ

れつて粗製や石脳油のことですよ。

老舗の旦那衆が節約を呼びかけませんかと言うけど、姐さんは「大丈夫、目詰まりしているだけ」の一点張りです。

加えて、日の本は東に向かつて惨敗、現地に大きな迷惑をかけた。さらに昭和の世では、西の朝鮮半島や満州を征服して、これまた悲惨な結果を招いた。西は日本の鬼門と言えるかもしれないね。西洋かぶれは構わんけど、実際に西に打つて出るなんてことは金輪際やつてはいかん。

八…左官屋は塗るモノが入らな

いって困ってますぜ。

熊…大工も、家や屋敷を建てるのに物が入らないつてさ。

萬重…何より、モノの包装も困っているらしい。

熊…ほう、そうかい。

八…いつまで戯れ言を言っつてんだ(バシッ)。

古琴…メンツを気にするのは時には必要だが、いつまでもそれに固執するのはいかなものかね。そのくせ、昔言つた都合の悪いことは、いつの間にかないことなつている。困つたもんだ。

八…オレ達の時代にも「米の目詰まり」があつて米問屋の打ち壊しがありやした。令和も同じになん

なきゃよいけど。

古琴…儲けたくて買い占める連中もいるが、大半は予備がないと不安だから多少の余分が欲しいだけだ。

心配する連中がいくつもの店に注文しに行く。小売りの店も先行きが心配なので、いくつもの問屋に注文を出す。結果、注文が連鎖的に必要以上の「水ぶくれ」する。

その一方で、ブツは入らないの

で必要などころに届きにくい「目詰まり」を引き起こす。「注文の水ぶくれ」と「ブツの目詰まり」

が実は重なる。商売の常識だ。

八…姐さん達老中や城の連中は、そ

こをよくわかつていないようだ。

米の目詰まりも、ナフサの目詰まりも似ている。

萬重…オレ達のころも、田沼様から松平定信様に替わつて「寛政の改革」の中で儉約・儉約と言われ

てまいつちまつたけど、今回は

しっかり皆で儉約しねえといけ

ねえや。

日の本とついでに鬼門は？

熊…ところで、その何とか湾つて

のは、どこにあるんだ？

八…ずうつと西だろ。

萬重…オリエントと呼ばれて、大昔にすごい文明と文化があつたところらの近辺らしい。

古琴…エゲレス語で方向づけるつて意味のオリエントーションという言葉がある。西欧から見ると日の昇る方向にオリエントがあつて、そこでパテルンの神様が生ま

れた。オリエントは日の出と拝む

べき方向なんだな。寄り合いの時に、まず段取りを示すことを「オリエントーション」と言うのは、

ここからきている。

萬重…あつちへ向かつて頑張ろう

ぜつてことか。

八…「日出ずる国」は日の本だけ

じゃない。

古琴…三蔵法師が向かつて天竺(インド)も中国からはオリエントの

方向だね。逆に西、「日の没する国」

に向かつてたわけだがね。

萬重…西に向かつて『西遊記』。

熊…孫悟空が活躍するやつか。

八…お前は猪八戒みたいだな、飯

食つて、酒飲んで。

熊…ブタ公と一緒にするな、俺は

熊公だ(バシッ)。

八…俺は沙悟浄。萬重は孫悟空。

古琴…西の奴らは東へ行きたがり、

東の連中は西へ行こうとする。

古琴…そうかもしれん。だが、

日の本が西へ向かうとロクなこと

がない。

任那の日本府は破れ、太閤秀吉

は西方に領土を求めて朝鮮半島で

毎度の戯れ言・与太話、お粗末

さまでございました。

「こゝろ・ゆづり」
昭和の東京に生まれ育つ。若い世代の育成、企業革新等に取り組み一方、お小言を言いたいことが多過ぎるこの「時世」、文筆活動にも乗り出す。